

平成 30 年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会 第 2 回役員会議事録

開催日時：平成 30 年 10 月 20 日（土）16：30～18：00

開催場所：福岡県歯科医師会館 4 階第 2 会議室

出席者：尾崎正雄、山崎要一、空田安博、野中和明、藤原 卓、牧 憲司、西田郁子、小笠原貴子、釜崎陽子、稲田絵美、馬場篤子、久芳陽一、久保山博子、舛元康浩、高風亜由美、森 奈千子、井上浩一郎、宮川尚之、竹島 勇、柳田憲一、奥 猛志、石谷徳人、岡 暁子、橋本敏昭、石井 香、

欠席者：木舩敏郎、田村翔悟

（敬称略）

進行：馬場庶務幹事が行った。

1. 開会の辞

山崎副会長が開会の辞を述べられた。

2. 会長挨拶

尾崎会長が会長挨拶を述べられた。

3. 議長選出

尾崎会長より竹島沖縄県代表幹事の推薦があり、議長に選出された。

4. 報告事項

1) 尾崎会長が資料 1 をもとに平成 30・31 年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会役員変更について報告された。

2) 尾崎会長が資料 2 をもとに第 36 回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について報告された。

3) 牧常任幹事が地方会大会優秀発表賞審査状況について報告された。

4) 石井広報幹事が平成 30 年度ニューズレターの発刊について報告された。

5) 牧常任幹事が資料 3 をもとに第 37 回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について報告された。

6) 奥監事が資料 4～7 をもとに地方会の公益法人化について報告された。

報告内容：来年度から地方会も公益法人化となるのでその対応を行うこと。今年の 12 月末に本会へ次年度予算・活動計画を提出し、来年 1 月末に本会へ本年度決算・活動報告提出を行う。会計報告は地方会の収支計算書のフォーマットに沿って作成する。理事長などが各地方会役員会に出向いて説明を行う。

7) 奥監事が資料 8 をもとに地方会中止に伴う対応について報告された。

報告内容：今年初めて台風により近畿地方会が中止となった。その対応として大会は抄録集内容をもって終了とみなすため、再開催は行わない。また、運営に関して、赤字などの補填は本会が対応する。運営に関する赤字分は本会が補填する。学会発表は筆頭発表者のみとし発表の 5 単位を与える（参加の 10 単位は与えない）。専門医資格更新ならびに認定歯科衛生士資格取得ケースプレゼンテーションの発表については、他の地方会もしくは来年度の同地方会への発表を求め、12 月の理事会で正式に決定したものを公表する。

8) 奥監事が資料 9 をもとに学会 HP における認定医名簿の取り扱いについて報告された。報告内容：2 年後に認定医制度が廃止されるので、認定医検索は学会 HP の【学会関係者】のページからのみ可能となる。次年度から実施予定の認証医制度と歩調を合わせる。

9) 橋本会計幹事より、九州地方会 HP の管理費の請求（3/31 締め）がメテオから 4 月に来るが、法人化に伴い次年度からは管理費の締めに 12/31 に変更したと報告された。

- 1 0) 奥監事が資料 10 をもとに 2019 年度、2020 年度の地方会日程について報告された。
報告内容：今年度は中部と中四国が同日開催となったが、今後は各地方会で開催日が重複しないように調整する。
- 1 1) 藤原常任幹事が国際渉外委員会委員長として今後の国際学会の予定について報告された。
報告内容：①IAPD Global Summit of Early Childhood Caries バンコク（タイ）2018 年 11 月 2 日 - 4 日
②The 60th Scientific Meeting and Annual Congress of Korean Academy of Pediatric Dentistry (KAPD) COEX, ソウル, 韓国 2019 年 4 月 27 日 - 28 日（当日会費無料）
③The 27th IAPD Congress カンクン, メキシコ 2019 年 7 月 3 日 - 7 日
④The 12th PDAA Congress COEX, ソウル, 韓国 2020 年 6 月 12 日 - 14 日

5. 審議事項

- 1) 尾崎会長が資料 11 をもとに第 36 回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第について説明され、賛成多数により承認された。
- 2) 尾崎会長が第 38 回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催地について、順番でいくと九州大学が担当となるが九州大学の野中教授退官となられるので鹿児島大学をお願いしたい旨を説明され、次回の役員会へ持ち越し審議となった。
- 3) 柳田地方会特別幹事が資料 12 をもとに平成 31 年度歯科衛生士フォーラムの開催について説明され、賛成多数により承認された。
- 4) 石井広報幹事が資料 13 をもとに第 32 回から 36 回まで地方会抄録集のHPへの追加掲載について説明された。また馬場庶務幹事より、今後地方会の法人化に伴い地方会HPを継続するのかどうか審議依頼があった。奥監事から地方会HPについて他の地方会との足並みをそろえる意味から地方会連絡協議会で検討すると説明があり、地方会抄録集の追加掲載について賛成多数により承認された。
- 5) 尾崎会長より次回役員会の日程について、地方会の次年度予算・事業計画立案のため 12 月にメール会議を行いたい旨、説明され賛成多数により承認された。何か事業を計画されている先生は早めに事務局へお知らせ願いたい。
- 6) 牧常任幹事より、40 周年にむけて積み立て予算を設けてはどうかと説明され、積み立て方法などは本会に相談することで賛成多数により承認された。
- 7) その他、井上宮崎県代表幹事より、平成 31 年 4 月にオープンセミナーを企画している説明がなされ、次年度の事業計画案に組み込むこととした。
- 8) 奥監事が代議員数について、九州地方会では現状（8 名）通りか会員数に基づいて算出する（7 名）かについて、更に山崎副会長が代議員選出について詳しく説明され、現状のまま継続希望することで賛成多数により承認された。

6. 監事総評：

奥監事より、次々に教授が退官される世代交代の時期に入るが、若い先生方と九州地方会の活性化を図っていかなければならないと総評を頂いた。

岡監事より、地方会の法人化に伴いこれからも様々な内容を十分に審議する必要があると総評を頂いた。

7. 閉会の辞

空田副会長が閉会の辞を述べられた。